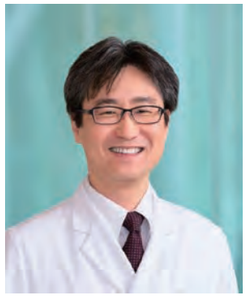
岡山大学病院　～小児患者家族等宿泊施設の運営への支援～

メッセージ

私たちは、「患者さんのために」、「医療・保健の発展のために」、「自己ではなく社会のために」を合言葉に、職員一丸となって患者さんと社会・地域からの期待に応えられるよう全力で取り組んでいます。小児の患者さんは、お子さんだけでなく、ご家族も入院中は不安がいっぱいです。岡山大学病院では、同じ病院内にご家族の宿泊施設をもつ全国でもまれな病院です。この取組を続けて少しでも心穏やかな医療環境を提供したいと考えております。



●岡山大学病院長 前田 嘉信

小児患者家族等宿泊施設の運営への支援 推進

岡山大学病院では、患者の皆さまとご家族が安心して岡山大学病院で治療が受けられることを願い、長期入院する小児患者の家族等のための宿泊施設（ファミーユ）を、院内で整備して運営しています。
事業の継続には本事業に賛同をいただく皆様からのご支援が不可欠となっており、広くご寄付をお願いしております。

ご寄付いただいた場合

◆寄付金は寄附金控除の対象になります。

・12月頃、寄付金領収書を郵送します。
・寄附金控除を受けるためには、確定申告の際に寄付金領収書を添付してください。

◆活動内容を報告します。

・年に1回、活動報告書をお届けします。

団体連絡先

岡山大学総務・企画部総務課（学都基金担当）

岡山県岡山市北区津島中1-1-1
TEL:086-251-7009（平日9:00～17:00）
E-mail:kikin@adm.okayama-u.ac.jp　URL:https://www.okayama-u.ac.jp/user/kouhou/kikin/

ご支援でできること

ファミーユが目標とすること

本院は、入院棟内に宿泊施設を有しているという特色があり、ご家族が患者の皆さまのすぐそばにいるという安心感の下、日常生活と変わりないよう、プライバシーが守られゆっくり休むことができる宿泊室やご自宅と同様に料理を作ることができる共有キッチン、また、同じ境遇のご家族と交流をすることができるスペースなどをご提供することで、遠方からのご家族にも少ない経済的負担でご利用いただき、患者の皆さまとご家族が安心して治療を受けられ、「岡山大学病院で診てもらってよかった。」と思っていただけることを目標としています。

ファミーユの活動について

本施設は、重い心臓病で2010年に亡くなった女児が生前、米国で心臓移植手術を受けるための募金活動で集まり、本学に託された寄付金で整備し、長期の入院により家族の経済的な負担が大きくならないよう1人1泊1,000円（税別）と安価でご利用をいただいており、運営経費の大部分は本事業に賛同いただく皆様からのご寄付に支えられています。
ご寄付の使途としては、本施設の運営経費及び設備更新等に充て、サービスの充実を図りたいと思います。
本施設は、現在、年間300組を超えるご家族に利用いただいており、今後も事業の安定的な継続にあたっては、本事業に賛同いただける皆様からのご支援が不可欠となっております。

●宿泊施設（ファミーユ）入口

●ピアノ・ジョイント・リサイタル

●院内の様子（小児科）

●院内の様子（小児科）